

議員と語ろう会 実施報告書

日 時	令和7年8月29日（金） 19:00～20:30
会 場	あわら市商工会本所2階大ホール
団体名（参加人数）	あわら市商工会女性部
参加議員	北島（リーダー）、島田、中垣内、中嶋

【意見交換の内容・所感など】

○新幹線停車駅（ＪＲ芦原温泉駅）にタクシーがないことをどう思うか？

→新幹線開業に併せて、ＪＲ芦原温泉駅とあわら湯のまち駅において、県の補助を受けて夜間タクシー待機委託事業を実施した。令和7年度からは利用も少なく、県の補助もないことから、ＪＲ芦原温泉駅だけとなったが、継続しており、令和8年度までは実施する計画でいる。令和6年度に実施した日本版ライドシェアの実証実験の結果と本稼働には至らないことになったことも併せて説明した。

○学校給食がない夏休み期間中の子どもの食事不安について、市としてはそのような状況を把握しているか？

→学校での把握と見守りの他、要保護児童対策地域協議会でも要支援者の子どもは把握しており、見守り、相談、対処に努めている。子ども食堂に対して、支援対象見守り強化事業も令和2年度から実施している。

○小中学校等で子どもの姿勢教育があると良いのではないかな？

→子ども園や小中学校で、食事や授業中における指導や朝の学活での足ぺったんやお腹グーなどの指導もしている。小学校1年生では書道の授業での姿勢を指導している。ただし、家庭における指導も併せてすべきではないのかという回答をした。

○新幹線開業から時間が経っているが、芦原温泉駅周辺の景観整備が遅れているのではないかな？

→令和6年12月に変更したあわら市景観計画について説明。また、令和6年度から実施している竹田川周遊エリア整備事業が令和7年度がメインとなっているので、整備がこれから見える形で進むことを説明。併せて金津本陣賑わい広場の整備が、いよいよ9月から民間の提案募集してαキューブも含めたプラン公募の事業実施についての市の支援内容を説明。

（意見・要望事項）

○ＪＲ芦原温泉エリアとあわら湯のまちエリアをつなぐ施策が必要。

○あわら湯のまちエリアの観光まちづくりの実証実験事業の施工には、地元の事業者の活用すべき。

○湯のまち駅前のロータリーの植え込みが密集し、背丈も高いので、中央の水銀灯のスイッチ操作にも支障があり、また観光客は旧角惣側から駅舎が見えず、またロータリー全体が見えないので、自動車やバイクがロータリーを回らず直進してしまうことがあるので、大変危険。上段の植え込みは不要で下段のレベルでフラットにしてほしい。6月に造園業者が植え込みの手入れをしてくれたが、植え込みを取るのではなく、丸くカットしただけなので、不便さとリスクは変わっていない。

○バス路線にもなっている湯のまち駅前から旧角惣の県道の除雪が遅い。この道路に融雪装置を設置しない理由は何かな？（後日回答する）

○坂井市のデマンドタクシー（イータク）との連結を望む。

○市の情報提供が十分と言えるのか？今回の議員と語る会で初めて知るようなこともあった。議会だよりでも状況提供しているが、今後、市の広報の在り方と併せて議会においても、さらに適切な情報提供の在り方を研究していきたい。

（感想）

○予め示された協議事項以外の事項については、少子高齢化で人口減少が今後ますます進展する中で、持続可能な地域商業の在り方という話題が中心になるのかと考えていたが、市への要望事項が多くあったと感じた。

令和7年8月29日

あわら市議会議長 様

作成者 島田 俊哉